



株式会社 ツナグ・ソリューションズ

事業本部 人事総務チーム
鈴木 綾さん

企業プロフィール

- 事業内容：採用代行業／人事活動全般における各種コンサルティング業／人事総務業務におけるコンサルティング業／アセスメント・サービス業務／人材開発・研修業務／人材斡旋ならびに紹介予定派遣事業
- 従業員数：186名(2011年12月1日現在)
- URL：<http://www.tsunagu.co.jp>

プライベートの時間を 充実させることで仕事も円滑に

実践!

こうすればできる!こうすればのびる!

- ① 社員の意見を積極的に取り入れる
- ② 社内イントラネットを活用して結果報告
- ③ 楽しく働きモチベーションアップ

LOVE休暇

人と人のつながりを大切に

当社は業界初のアルバイト・パート専門のコンサルティング会社として出発しています。人材を募集するクライアントと、仕事を探している方々の間に立って調整するのが主な業務です。

クライアント、求職者双方に満足してもらう良いサービスを提供するためには、「提供する側も充足し、楽しく働く必要がある」というのがワークポリシー。社員それぞれが業務の上でこのポリシーを実現できるように、休暇制度も独自のものを取り入れています。「休むことも仕事」だということを自覚してもらうために、会社役員や上司(管理職)を含まない『YOU-9プロジェクト』を社内で発足させ、年次有給休暇の取得促進、休暇取得促進のためのマニュアル作成、新しい休暇を起案し、会社側へ提案を行っています。また、休暇の特徴や休暇のエピソード等を記載した「特別休暇促進通信」を毎週全社員に発信して制度の周知も行っています。

LOVE休暇で周りの人と過ごす時間も大切に

LOVE休暇は、年1回大切な人の誕生日に休暇がとれる制度です。プレゼント代として

上限1万円を会社から支給します。妻や夫、親、兄弟、友人でも、もちろん恋人でも、自分にとっての大切な人すべてが対象になります。社員同様にそのご家族も大切にするとというのが、当社の考えです。会社のことをよく知ってもらい、働く事を応援してくれる人を増やしたいという思いもあります。取得者は必ずイントラネットに事後報告をすることになっています。動画と一緒にコメントをのせ、それを見た他の社員からのコメントも記入できるようになっています。社員が見る機会も多いので、休暇を取りやすい環境作りや社内コミュニケーション活性化にも一役かっています。休暇を取得するには事前に上長に取得日を連絡、取得日の2日前までに申請書を総務人事チームに提出します。プレゼント代は領収書を提出することで会社から支給されます。

カルチャー&エンタメ半休

直感力や感受性豊かな人材の育成

カルチャー&エンタメ半休は、右脳活性化のために、映画、演劇、スポーツ観戦、ライブ等、文化・教養に触れるチャンスを多くして欲しいという思いから作られた年に2回、半日休暇が取得できる制度です。1回につき



事業本部
人事総務チーム チーフ
井野 香織さん
(LOVE休暇、勉強休暇)

社内でも取得を 楽しみにしている LOVE休暇

せっかくの制度ですからね、真っ先に使ってみたいと思って、LOVE休暇と勉強休暇が一番乗りで利用しました。最初のLOVE休暇では、親孝行も兼ねて家族といっしょに食事に行きました。このような休暇が取れること自体が珍しいのですが、プレゼント代まで出ること、家族は驚いていましたね。「会社がこんなによくしてくれて、家族まで大事にしてくれる」と感じたようです。娘である私の勤め先についての見方も変わったように思います。今ではこの会社で働く

私を応援してくれています。まさに「周りの人を喜ばせる」という当社のワークポリシーそのものの効果ですね。

仕事のモチベーションがアップ

以前はお客さま担当でしたので、クライアントの店頭で実習させてもらうために、勉強休暇を取得しました。実際に現場ではどのような仕事をするのか、どのくらい大変なのかを知っておくと、採用につながる効果的な原稿も作成できるのでは?、企業に関するご質問をいただいた時にすぐに回答できるのでは?、と考えたことが動機です。上司と相談し仕事の調整をした上で、ベビー服のお店で商品の陳列、レジ打ちや清掃など現場の仕事を体験しました。休暇取得後に「どうだった?」と聞かれて、職場のみんなも関心を持ってくれたのが嬉しかったですね。何よりも、クライアントとの距離も大変近くなったことが嬉しかったです。

上限5,000円を会社から支給します。例えば、友人と2人で映画を見に行き、プログラムを購入することもできます。この休暇の取得率は全休暇中ナンバーワン。「休日は混雑している美術館でも、平日にゆったり鑑賞ができた」「これまで触れたことのないジャンルの芸術鑑賞ができた」等、好評を得ています。

右脳の活性化をしていくことで人間力を高め、仕事に還元して欲しいという狙いもあります。

勉強休暇

自己啓発のチャンスを拡大する

年に1回、最高連続5日間まで休暇を取得できます。勉強休暇の申請内容は幅が広く、当社のクライアントの店舗で一日、働く側として職場体験をしたいというケースもあれば、海外にボランティアに出かけたい、資格を取得したい等、さまざまな要望があります。休暇を取得するためには、年に2回ある全社ミーティングの場を借りて勉強内容、諸経費見積、会社や社員へ還元できること等をプレゼンして承諾(参加者の2/3の承諾が必要)を受けるシステムになっています。この全社ミーティングの中で10万円を限度に勉強費の支給も決定されます。会社としては基本的に休暇を取得させたい方

向で考えていますので、ミーティングの場で理解を得られるように、全社ミーティング事務局でプレゼンの手法もサポートしています。本人にとってはプレゼンの練習にもなりますし、事務局側の指導も後々役に立つことでもあります。

理美容半休

街に出て情報収集をする機会としても期待

理美容半休は月1回取得できる休暇制度で、休暇の目的がはっきりしている、半日休暇ということもあり、毎月のように取得する社員もいるほど人気のある休暇です。会社からの費用補助はないのですが、空いている時間帯に理美容に行けて、リラックスできるというメリットがあります。理容室、美容室を利用する男女すべてが利用できるうえ、理容室でのシェービングや美容室でのネイルケアやヘッドスパの目的でもこの休暇は取得可能です。平日に街に出るということは、他の業種がどのような仕事をしているのかを知る機会にもなり、情報収集の役にも立ちます。ワークポリシーの一つ「周りに注意を向ける」の実践にもつながります。理美容半休をきっかけに積極的に街に出かけ、アンテナを張って仕事に還元して欲しいと思っています。